

# CURIOUS MINDS

平成20年1月 第4号

発行：せんだい若者サポートステーション  
〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12  
TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691  
Mail: info@saposute.ne.jp  
URL: http://www.saposute.ne.jp

\* せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備モデル事業」です。

～ “curious minds” の願い ～

“curious” とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心（＝楽しみを見出す力）をととても大切に考えています。せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩みだしていこう、という思いで、この“curious minds” という名をつけました。



## 八本松の風景 III …あすと長町付近…

地下鉄長町1丁目駅を降り、少し行くと目の前に広がるのが、再開発地域「あすと長町」。

この「あすと」という地名は、「明日(あす)」と英語の“US”(私たち)に「都(=街)」をつけたもので、「未来の私たちの街」の意が込められているそうです。

その名の通り、未来への希望を感じさせる、広々とした街並み。夜は夜で、あすと長町大通りを行き交う車のライトが幻想的な雰囲気を漂わせています。

街も、そして人も、自分の描いた地図を頼りに、少しずつ成長していくものなのかもしれません。

## 連載 せんだいサポステ こんな活動をしています

### シリーズ3 「先輩に聞こう!」

せんだいサポステの活動の中からひとつをピックアップし、そのねらいや具体的な進め方などを、ご紹介するこのシリーズ。第3回目は、「先輩に聞こう!」です。これは、その名の通り、人生の先輩、仕事の経験という意味での先輩にご登場頂き、ざっばらんにお話をさせていただくものです。毎月1回の開催です。

♪ このイベントのねらい ……

講師の方のお仕事内容だけでなく、失敗談、苦労話や嬉しかったことなどを率直に、しかも目の前でお話していただくことにより、「働くとは」「仕事とは」ということを肌で感じることができます。

♪ これまでの講師の方の顔ぶれ ……

元百貨店営業部長、ゼネコン技術者、乳業会社営業マン、など

♪ 12月の「先輩に聞こう!」より

12月18日(火)には、株式会社藤崎人事部長 宮島徹氏にお越しいただきました。その模様をお伝えすると…



(株)藤崎人事部長 宮島徹氏

宮島氏は、株式会社藤崎に入社後、食品部(菓子名産品担当・生鮮食品惣菜担当・催事企画担当・グローサリー和洋酒担当)、営業企画部などを経て、人事部へと移られました。

これまでのご経験を通し、“明るく元気に何でも取り組む”、“失敗したら受け入れ、それを次に活かす”をモットーにやってこられたことや、“天職は探すものではなく、こつこつ取り組んだ結果が天職に結びつくのだ”といったお話をいただきました。

百貨店ならではの、素敵な笑顔とさり気ない気配りが随所に見られる講話でした。そして参加者たちは、第一線で働く素敵な“先輩”の心意気を間近で感じ、みんな興奮気味でした。

#### 終了後の参加者の感想

●「仕事に雑用はない」という言葉が、強く心に残りました。

●「あきらめない努力」の大切さや、「仕事は気持ちの持ちようだ」ということを聞いて、少し力がわいてきました。

●これだけのキャリアの方でも、常に自分を磨く努力をされていることを知り、自分も頑張らなきゃなと思いました。

今後も、様々な方にお話を伺う予定です

きょうちゃんの

# お仕事探検隊

このコーナーは、せんだい若者サポートステーションのメンバーに担当してもらっています。自分の“今”、そして“これから”を懸命に模索している若者の声をお届けします。

お話を伺った方… アナウンサー・言の葉アーティスト： 渡辺祥子さん



渡辺祥子氏

なんて素敵な方だろう。それが、祥子さんの第一印象でした。  
まず、容姿が大変美しい。  
それに、挨拶を交わしたときの、心が震えるような、なんとも明るくてすがすがしい声。そんな、キラキラと輝いて見える祥子さんに、わたしは思わずくらくらしてしまいました。

## <お仕事内容>

祥子さんは、宮城県出身のフリーのアナウンサーです。  
フリーというのは、どこの放送局にも所属せず、独立してお仕事をするのだそうです。  
彼女は「自由人です」と笑って答えました。  
ラジオのパーソナリティーやCMナレーター、さらには司会、インタビュアーなど、幅広く活躍されています。  
インタビュアーのお仕事としては、デビューしたてのアーティストから、矢沢永吉さんやユーミンなどの著名人にいたるまで、また、アーティストだけにとどまらず、企業家の方など様々な方とお話をされてきたそうです。

## <苦勞や喜び>

わたしは勝手に、苦勞話が多いものだと思い込んでいましたが、見事に外れました。  
というのも、祥子さんは確かに周りからバッシングを受けたり、理解してもらえないなどのご苦勞はあったそうなのですが、「苦勞は喜びへのステップ」と思って来たそうで、あまり“苦勞”とは思わなかったそうです。  
苦勞よりも“喜び”の方が大きいと感じているようで、「言葉を通して共感の輪が広がると嬉しい」と熱く語っていただきました。  
「あきらめずにいきましょう」と励まされ、パワーをくださりました。

## <若者に伝えたいこと>

「自分を否定しないでください。人は、誰かに、何かに必ず必要とされています」  
いつも自分を否定してばかりいるわたしは、この言葉に救われました。  
「自分との戦いです。チャンスを信じてください」

## <今後の目標>

「多くの方に声のメッセージを伝えたいです。日本以外の人々とも交流させていただきたいです」と、祥子さんの目標は明確で大きい。  
客船「飛鳥Ⅱ」世界一周クルーズ船上での『源氏物語』の朗読も今後控えているそうで、彼女は目標に向かって着々と進んでいるように感じました。

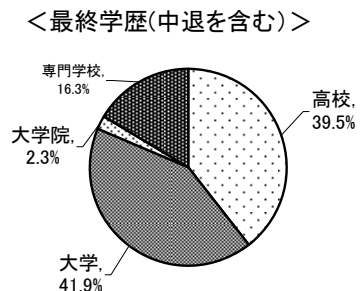
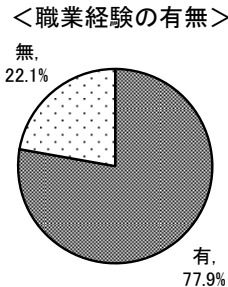
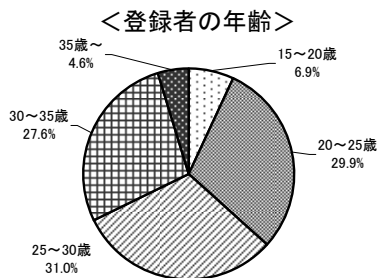


インタビューを終えてみて、改めて、祥子さんは素敵な方だと思いました。  
わたしは、声にコンプレックスを持っており、今まで人と話すのが苦手でした。  
ですが、「コンプレックスを持つ必要はない」と祥子さんにおっしゃっていただき、もう、本当に感激しました。  
最後には、発声のコツまで教えていただき、二重・三重の喜びを得ることができました。  
今回、初めてのインタビューに挑戦し、緊張もしましたが、祥子さんのお人柄に、わたしのこころも解きほぐされ、良いインタビューができたのではないかと思います。  
渡辺祥子さん、本当にありがとうございました。  
(BY きょうちゃん)

# せんだいサポステDATA

※平成20年1月17日現在

登録者数 91名 (男性71名 女性20名)



来所者のべ数 1082名  
 相談件数 474件  
 イベント参加者のべ数 571名  
 進路決定者数 16名 (正規雇用4名 フルタイム非正規雇用11名 職業訓練1名)